

コミュニティ だより

あけほの

平成 23 年 7 月 1 日現在	
人 口	15,304人
男	7,576人
女	7,728人
世帯数	5,271戸

六合コミュニティ委員会本部役員



会長 前川富士男



副会長 鈴木政隆



副会長 鈴木康夫



副会長 服部三郎



会計 吉田正夫



書記 川井和実

会長あいさつ

前川 富士男

「暑さ寒さも彼岸まで」の諺通り、やっと初夏の香りがし始めた今日この頃です。

去る四月三十日には、平成二十三年度六合コミュニティ委員会の委員総会が開催され、ご来賓の方々にも心温まるご祝辞をいただき、多数の委員のご出席のもと案件を全員の賛同を得て承認可決をいただき、無事終了することができました。

また、六合コミュニティ委員会の今年度の一大行事である四十周年記念行事は、十月三十日(日)午後一時より式典を行い、講演会を式典終了後の午後一時三十分から行うことが決まりました。講師役を、島田第一中学校出身の三遊亭遊喜師匠にお願いした講演会です。

これからの六合コミュニティ委員会の主な行事である、「ホテルの里コンサート(公民館と共催)」「ソフトバレーボール大会」「一戸一品拠出運動」「夏祭り」「敬老会」「親子映画鑑賞会(公民館と共催)」「健康ウォーク」「文化祭」「親子マス釣り大会」「グラウンドゴルフ大会」「老人部いきいきクラブ大会」「インディアアカ大会」「入学祝い大会」等には「四十周年記念」の冠を付けて実行することも決めました。

「コミュニティ」とは何か?を常に念頭に置き、諸先輩の切り開いた道を崩す事のないよう、できるだけ多くの皆様に参加していただけるようにコミュニティ委員会活動の推進に努めてまいります。

皆様方のご支援と御協力を賜りたくお願い申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

平成二十三年度 六合コミュニティ委員会 * スタート

文化部

部長 野崎雄三

本年度文化部の役員となりました、多少の戸惑いがありますが皆様と共に一生懸命努めさせていただきます。

本年度の計画と致しまして、六月には文化部として初めてのほたるの里コンサートを開催致します。

あと、十月には二日間の予定で文化祭を行います。

六合全体が明るく老若男女が楽しめるよう努めてまいりたいと思っております。

なにぶん初めての事ですので至らない点が多いと思いますが一年間ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

消防治安部

部長 高田浩嗣

消防治安部は地元、島田市消防団第四分団 総勢五十三名で組織しております。

日頃から地域の皆様にはご協力、ご信頼をお寄せいただき心からお礼申し上げます。

我々消防団は、火災活動、消火訓練、河川水防訓練はもちろん、月二回の資機材及び六合地域の投光車のメンテナンス、点検、島田市マラソン大会の救出救護の支援、成人式の支援活動、行方不明者の捜索、冬季夜間警戒、六合地域の祭典、各行事のお手伝いと多分野に渡り、さまざまな活動を行っています。

消防団はあくまでもボランティア団体なので、これらの出役、活動の参加に対して、決して強制することもされることはありません。

しかし団員は地域、地区の代表として、使命感を持って積極的に活動に参加してまいります。今年度も、五人の二十代の若者が入団を決意してくれました。

すでに、地域、地区の代表としての意識を持ち若い団員も含め、いやな

顔一つしないで進んで消防団活動に参加してくれて、私たち幹部団員としては、本当に頭の下がる思いです。

こうした、これから活動していく人、またこれから入団してくれる若い人達が少しでも活動しやすい環境を作っていくには、幹部団員はもとより、地元地域の皆さんのご理解、ご支援が不可欠です。

新入団員の確保がなかなか出来なない地域も少なくない中、六合地域は毎年こうして、若い人が入団してくれるのも、偏に、六合コミュニティを始め、このような環境を作り上げてきた、人たちの結果だと思いき感謝していただきます。

六合コミュニティ活動はもとより、各分野で地元地域の礎になれるよう、団員一丸となつて取り組んでいきたいと思っております。六合地区の皆様方には地元消防団へのご理解、ご協力は是非よろしくお願い申し上げます。

体育振興部

部長 杉本 修

部長を受けるのは初めてで、不安でいっぱいです。地域の皆様にもご協力をお願いし、部員・役員の方々と共に、明るく・楽しく行える行事にしていきたいと思っております。

体育部の行事には、ソフトバレー、夏祭り・グラウンドゴルフ・インディアアカが計画されています。ソフトバレーとインディアアカ大会については、参加者が少ないと伺いました。一方グラウンドゴルフは参加者が多く、大盛況です。グラウンドゴルフの良いと思われる点は、プレーを行っている方々がお互いを、褒め合い、励まし合っていること、明るく・楽しく・プレーできることです。ソフトバレーとインディアアカ大会についてもこのように、コミュニティを盛り、上手な方の指導を受け、興味のある方が一人でも多く参加できるように考えていきたい

と思います。
プレーする人・応援する人そして
世話する人も、お互いが明るく・楽し
める行事を目標に一年間心掛けてやっ
ていきたいと思います。

交通安全部

部長 松井健次朗

本年度交通安全全部長を担当させて
いただきます松井です。

伝統ある六合コミュニティの運営
は歴代の多くの役員先輩が育てた偉業
を皆様方と共に受け継いでいきましょ
う。

六合地域の皆様には御迷惑をおか
けするかと思いますが、交通安全部員
と致しましては地域の皆様方の御支援
と御協力を御願ひします。

先輩の方々が交通安全に対して取
りくんできた六合地域の安全と安心を
もつとに部員一同一丸となって交通
事故のないよう努めさせていただきます。
よろしく御願ひ致します。

社会福祉部

部長 鈴木厚

本年度、社会福祉部を担当させて
いただきます阿知ヶ谷の鈴木です。

六合コミュニティの運営に参加す
ることは初めてのことで困惑すること
ばかりですが、役員の方々のご指導と
部員の皆様のご協力をいただき、微力
ではありますが全力を尽くし活動を行
いたいと思います。

本年度は次の通り、三つの活動を
行いたいと思います。皆様のご協力、
ご参加の程よろしく御願ひ致します。

一、一戸一品拠出運動(夏祭りバ
ザール)

各戸から不用品を集め、六合夏祭
り会場でバザールを催し、売上金を社会
福祉援助金の収入とする。

二、戦没者追悼式
六合地域出身の戦死者、戦病死者

の英霊の慰霊祭を道悦八幡宮で行う。
三、高齢者慰問
歳末に一人暮らし高齢者、在宅寝
たきり高齢者の自宅を訪問し慰問す
る。

レクリエーション部

部長 木村晴行

突然、輪番ということ、部長の
大役が回ってきました。

今までコミュニティの行事に全く
参加したことがなかったため、様子
分からずプレッシャーを感じていま
す。何をしたいのか分からなく不安
でいっぱいです。

まだ現役で働いており、仕事の関
係で全ての会合に出られるかどうか
はつきり言っておく心配で、みなさんご
迷惑をおかけするのではないかと心苦
しく思っています。三役を始め部員
の方々の協力を頼りに頑張りたいと思
います。

本年度の主な活動としては、十一
月の親子マ釣り大会があります。親
子マ釣り大会は、毎年好評という
ことなので、今年も親と子のふれあ
いの場として楽しいイベントが提供で
きるように部員一同頑張っていきたい
と思います。皆さまのご参加とご協力を
よろしく御願ひいたします。

女性部

部長 榛地裕子

私の記憶では「婦人部長」だった
はずでしたが、引き継ぎに伺うと「女
性部長」だとの事。一瞬？マークが頭
に浮かびました。お話を聞くと、どう
やら「婦人部」という呼び名は過去の
ものになった模様。そんな基本的な事
ですら今まで全く知らなかった私が部
長です。どう考えても頼りない部長で
す。しかし、名前が変わっただけでな
んだか新しい部になったような感じが
しませんか？

現代は、地域の人たちの絆が昔に
比べて希薄になり、生活様式や考え
方も六合コミュニティが発足した四〇年
前に比べ随分変化していると思いま
す。でも、やはり人は誰かとつながり
支え合って生きていくのが幸せかと思
います。また、三月の東日本大震災を
思うと、こんな時代だからこそ、地域
での活動やつながりを大切にするべき
ではないでしょうか。

若い世代に地域活動への興味や関
心を持ってもらう事が地域の活性化に
つながるような気がします。名前だけ
でなく、発想や活動内容の若返りもで
きたらいいなと思います。

どうぞ、六合地区にお住まいの老
若男女の皆様！女性部の活動にご協力
の程よろしく御願ひいたします。

六合中学校

全校生徒が体験する
三旗の掲揚と降納

校長 押尾 宏

六合中学校では、伝統の「三旗」の
掲揚と降納を続けています。毎朝七時
四十五分になりますと、当番の生徒が
校長室のドアをノックの後、「失礼し
ます」のあいさつの後、私と生徒が
互いに気をつけの姿勢で対面します。
生徒達は、「おはようございます」「〇
年〇組の三旗掲揚当番ですが、三旗を
いただきますまいりました」と丁寧にあ
いさつをしてくれます。そこで私が、
国旗、市旗、そして校旗を一枚ずつ、
「よろしく御願ひします」と言いなが
ら、それぞれ生徒に丁寧に両手で手
渡ししていきます。生徒は、胸の前で
両手で旗を抱えながら、「失礼しまし
た」と言って退室していきます。そし
て運動場の掲揚塔に三旗を掲げてくれ
ます。

皆様も自分が六中生だった時に似た
ような体験をされているのではないで
しょうか。大切なものを手にした緊張
感と責任感を中学生なりに感じ取っ
てくれているんだなと思えば、礼儀
正しく旗を預かり一礼をして退室して

いく姿を、毎朝、見送っています。七
月の中旬の今頃は、二年生がこの三旗
の掲揚と降納の当番です。

六合小学校

校長 鈴木敏之

皆様、こんにちは。四月一日から六
合小学校へ校長として勤めさせてい
ただいております。鈴木と申します。私
は、三十年近く前にも六合小に勤務し
ておりました。当時と比べると、校舎
は新しくなり、周囲の景色もすっかり
変わりました。しかし、存じ上げてい
る方が多く、人と人とのつながりの強
さ、大切さを改めて感じています。

さて、本校は本年度、「思いをつた
えるよ」を重点目標(合い言葉)にし
ています。これは決して一方的なもの
でなく、互いに溢れる思いを自主的・
主体的に伝えることで、かわりが生
まれ、考えが広がりたり深まったり、
新たに創造されたりしていくこと、さ
らに、その過程で互いのよさが受けと
められ、自己実現(達成感・成就感・
自己有能感)が図られていくのではな
いかと考えています。

思いを伝えるようとするとき、挨拶は
その第一歩です。同時に周囲を明るく、
元気にしてくれま。子どもたちを健
全に育てる栄養と言ってもいいかもし
れません。ですから、気持ちのよい接
拶が溢れる六合小でありたいと願っ
ています。

これからの一年間、どうぞよろしく
御願ひいたします。

六合東小学校

校長 松本俊一

被災者への思いを折り鶴で
今年度のスタートは東日本大震災と
インフルエンザB型の流行が重なり落
ち着かなかつた。そんな中、社会福祉
団体のカーニさんから話を聞いた東っ
子委員会が、全校児童に呼びかけてリ
ヤカー一杯の支援物資を集め贈ること

ができた。また、東北出身の保護者が
涙を流して訴えた折り鶴を、全家庭で
折ることになった。連休中に、家族全
員で被災者の辛い思いを心に浮かべ、
ひたすら折ってもらった。私は、丁度
昨年旅行した浄土ヶ浜の鳥影を思い出
しながら折った。一本に四十羽ずつ通
して学級毎まとめた。五の一は四十二
本・一六八〇羽になった。個人では
二八〇羽折ってくださったご家庭が
あって大感激した。千羽鶴が万羽鶴に
なった。本校では、それぞれのご家庭
で、地震と津波について確かな学びが
できた満足している。

六合幼稚園

園長 池田勝太

リズム和太鼓が響く幼稚園
地域の皆様のご支援とご協
力にいつも感謝しております。駅の
すぐそばの幼稚園、広い園庭と大きな
プールそして園庭には大きな樹木、自
然の姿をそのまま残した恵まれた教育
環境、その中でまろご遊ばれや砂遊び
など、子どもの思いを大事にした遊び
を通して、子どもたちは日々学んでい
ます。

本園では、リズム表現活動、和太鼓
演奏、陶芸教室など、表現活動や感性
をはぐくむ活動に力を入れていきます。
特に和太鼓演奏を通して地域と連携し
た教育活動も進めています。

また本園では自園給食を行っていま
す。たまねぎ、さつまいも等の栽培活
動のお子様と保護者の皆様との会も定
期的に行っており、園の行事にも一緒
に参加していただいております。

子どもを見つめる眼はいつも新鮮で
ありたいと思っております。
大人からみれば小さな一歩であつ
ても、子ども自身には大きな一歩
です。その、小さな一歩を、保護者
や地域のみなさんと一緒になって、い
つも新鮮な眼で、見つけていきたいと
思っています。それが成長の芽となり
ます。

平成23年度 六合夏祭り

平成23年**8月7日**(日) 午後2時～午後7時30分
 六合公民館駐車場及びロクティ多目的ホール(バザー会場)



当日予定プログラム

- 14:00…夏祭り開会
- 14:15…バザー開始
- 14:15…アトラクション
(幼稚園・六小・六東小・六中・島工参加)
- 16:50…盆踊り (前半の部)
- 17:20…餅投げ (1回目)
- 17:35…余 興 (舞踊・3B体操・太鼓等)
- 18:50…盆踊り (後半の部)
- 19:10…餅投げ (2回目)
- 19:30…閉会式



昨年の夏祭りの様子



今年も焼きそば・綿菓子・ポップコーン・かき氷・フランクフルト
 駄菓子・飲み物・ヨーヨー、金魚すくいのお店がでます。

皆様おさそいあわせて見に来てね。

ぶ地震と津波の知識

1498年の明応大地震（浜名湖の今切口ができ、湖と海がつながった）では、焼津で津波6～8m志太郡地方で流死26,000人という記録があります。1854年安政東海地震は、静岡県の海岸地域に大きな地震と津波の被害をもたらしたといわれています。その状況は明治のわずか14年前の出来事であったので、多くの古記録・古文書・伝承などに残されています。しかしながら津波にあっては最大でも10m未満のようで、今回の東日本大震災の30mにも及ぶ津波が到達した地域があり「想定外」との言葉がうかがえたりしていますが、伊豆半島が1つの島で太平洋から北上し日本列島に衝突して、今の伊豆半島になっている地球の生い立ちからすれば、「想定外」は無いのではと思います。

島田での地震による津波の被害は記されてはいませんが、やはり自然の脅威（自然現象）は気に留めておかなければなりませんね。



JR気仙沼線鹿折唐桑駅西付近より気仙沼港方面を望む

宮城県気仙沼市の気仙沼港より500m以上内陸の1週間以上延焼した地区。

港の燃料タンクが津波により倒壊し重油が流失し火災が発生。

写真中央奥に船が見えるところが、下の左写真の場所で延焼は免れたが、津波により跡形もなく破壊されている。



JR気仙沼線の高台の線路にまで押し流された車両（鹿折唐桑駅西）

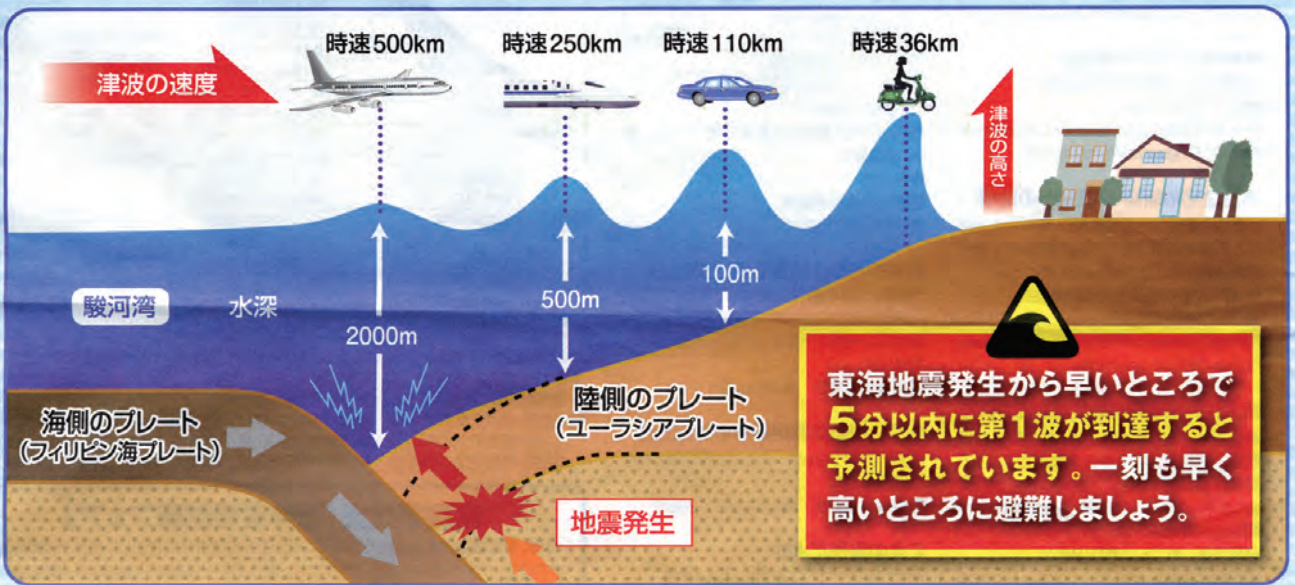
東日本大震災から学

3月11日に発生した東日本大震災では、想像を絶するような津波の恐ろしさを思い知らされました。東海地震が予想される本県にとっても、津波は大きな脅威です。あらためて津波が起こる仕組みと、地震への備えを見直してみましょう。

津波が発生する仕組みと特徴（東海地震の場合）

津波は、海底での地震や火山噴火、地すべりで海底地盤が上下するときに生まれる大きな波です。津波の速度は水深が深いほど速く、水深2,000メートルで飛行機（時速500キロメートル）に相当するといわれています。その速い波が、遅い波に次々と追いつくので、浅瀬では波の高さが急激に上がり、巨大な津波となって陸に押し寄せます。東海地震では高いところで10メートル程度の津波が押し寄せると想定されています。

津波 津波についての詳細は、ホームページからご覧になれます。
<http://www.e-quakes.pref.shizuoka.jp/shiraberu/hondana/pdf/186-2002-all.pdf>



県民だより5月号より



同地区河口に津波の被害を受けた鮭を発見。



気仙沼市唐桑唯越地区 100戸ほどの集落が津波により跡形もなく消失。

あなたの住んでいるところの高さ（標高）は？

東海地方から関西四国にかけて予想される東海地震・東南海地震・南海地震の3連動地震がうわさされています。

自然の猛威に太刀打ちは到底できませんが、自分の身を守ることは常々考えておく必要があります。

皆さんの住んでいる地域の標高を知っておいて万一に備えることも防災ですね。

3連動地震で津波が10m以上の予測ですが、大井川を遡ってどこまで来るなどは防災ハザードマップなどで知っておくことも必要ですね。

島田市の中心部と大井川の隣接の標高

島田市役所	58m
島田球場	52m

六合地区内の各学校

六合小学校	44m
六合東小学校	38m
六合中学校	47m
県立島田工業高校	48m

『宮城県南三陸町の震災(津波)による被災状況』



10m以上の津波に襲われ港に近い鉄筋の建物も原形をとどめないくらいに破壊されている。写真右側の小高い所に建てられた家の1階部分まで津波が到達。木造家屋も鉄骨建物も全く痕跡がない。



〔石巻市内〕



完全に津波に飲み込まれた民間の病院



見渡すかぎりガレキ化した南三陸町

ほたるの里

コンサート

6月11日(土)

六月十一日東光寺にてほたるの里コンサートが行われました。天候も心配されましたが百六十名以上の方が参加し、女性五人によるリコーダーの音色と童謡から映画「トトロ」よりのなじみの曲の演奏と最後は見上げてごらん夜の星を大合唱し多に盛り上がりました。

そのあと、東光寺の辻亮駿住職よりほたるの生態と一生についてのお話しがありました。

帰り道所々でほたるの乱舞も見られました。



ソフトバレーボール大会

6月19日(日)

十三チーム六十名以上の参加で盛大に六小体育館でソフトバレーボール大会が開催されました。賑やかな声と笑いの楽しい一日でした。

成績は：



40周年記念行事の案内

六合コミュニティ委員会では、平成23年度を**40周年記念**の年度として
当年度の事業を記念事業として実施します。

文化祭

10月29日(土)・30日(日) 会場:ロクティ・六小



昨年の展示風景



本年も多数の展示物の出展をお待ちしております。

主要事業（式典）について

日時：平成23年10月30日（日）

場所：六合小学校 体育館

内容：文化祭事業と40周年記念式典を一体化して実施

※式典・記念講演会（平成23年10月30日（日）午後1時～ 六小体育館）



講演会講師 さんゆうていゆうき **三遊亭遊喜**

本名：渡辺邦弘

誕生日：1972年10月18日

出身地：島田市

血液型：A型

特徴：着物が似合う体系（でぶ）

職業：落語家

特技：剣道2段（今はやってないけど）

趣味：ギター、音楽、釣り

好きなもの：ラーメン、コロッケ

1985年 3月 島田第一小学校卒

1988年 3月 島田第一中学校卒

1991年 3月 島田高校卒

1995年 3月 東洋大学卒

4月 三遊亭小遊三に入門

6月 遊やけで前座

1999年 4月 遊喜で二つ目に昇進

2009年 5月 真打昇進

出演番組・出版

笑っていいとも、うちくる（フジTV）

インディーウォーズ（日本テレビ）

小堺一機のサタデー・ウィズ（TBSラジオ）

8時かよう（インターネットラジオ南青山）

この人に聞く（FMしまだ）

ミュージックブルペン赤提灯球場（かしわプロダクション制作）

東京演芸ショー（高知放送）

『架空世界の悪党図鑑』講談社

本年三月に発生した東日本大震災は四ヶ月が過ぎますが、今だ被災地は全く復旧が進んでいない地域が多くあります。東海地震もかなりの高い確率で発生する可能性があると報じられました。

私も仕事柄、福島県から宮城県にかけて五回ほど被災地に救援物資を大型トラックに満載して同行して来ましたが、高速道路は栃木県に入ると、いたるところで陥没しジェットコースターのように上下しスピードを出しては走れず、被災地の道路の左右は津波のため建物があつたと思えるところが浸水し、一面がれきりと船と車の破壊された残骸のみの様相に涙がでてきました。

避難所では地域の組織が中心となり運営されており、人のつながりが無い人のストレスが心配されています。

本年度はもう一度自分達の住んでいる場所を見直し震災に備える特集も含め、あけぼのの記事を編集することにしました。

皆様もこんなことを知っておくと備えになる。など貴重な記事などありましたら地区内の広報部担当者に一報お願いします。

編集後記

広報部 河村初男